

【参考資料】 電源開発計画における火力発電所の状況について

- 当社は「2021年度東北電力グループ中期計画の力点」において、「電力供給事業の抜本的変革による競争力の徹底強化」を掲げ、競争力向上と利益最大化を目指していくこととしております。
- また、2050年のカーボンニュートラルを目指し、バリューチェーン全体で脱炭素化に取り組むとともに、スマート社会を実現することにより、東北・新潟地域全体のCO2排出量の低減にも貢献してまいりたいと考えております。
- こうした考え方のもと、火力発電については、高効率発電設備の開発推進と経年火力の休廃止により、さらなる電源の競争力強化や、再生可能エネルギー導入拡大に伴う需給変動への対応も進めてまいります。



能代3号



上越1号・建設工事中

※今回、新規計上のもの・・・

2020年3月
能代3号営業運転開始
(石炭: 60万kW)
・・・超々臨界圧方式(熱効率約46%)

2020年11月
東新潟4-1号系列出力増
(LNG: 82.6→87.79万kW)

2022年12月予定
上越1号営業運転開始
(LNG: 57.2万kW)
・・・世界最高水準の熱効率63%以上

2019年

2020年

2021年

2022年

2023年

2019年9月
秋田3号廃止
(重原油: 35万kW)

2020年3月
秋田2号廃止
(重原油: 35万kW)

2021年3月
東新潟港1・港2号長期計画停止
(LNG・重油: 各35万kW)

2023年3月予定
秋田4号廃止
(重原油: 60万kW)

環境性や経済効率性に
優れた電源構成へ